

# ZED!

FOR FILES IN TRANSIT

---

## スタートガイド

バージョン 2021

リファレンス : PX2091329r1

**PRIMX**  
MAKE ENCRYPTION HAPPEN

## 複製と著作権

著作権 © Prim'X Technologies 2003 - 2021.

Prim'X Technologies またはその法的代理人の書面による事前の同意なしに、本文書の一部または全部を複製することは禁止されています。いかなる種類の出版に関する申請も、意図された出版物のコピーを添付して申請してください。Prim'X Technologies は、その決定の根拠を示すことなく、すべての提案を拒否する権利を留保します。

全著作権所有。ソフトウェア **ZEDFREE** および **ZEDPRO** の使用は、ユーザーまたはその法定代理人と締結したライセンス契約の条件に従うものとします。

# PRIMX

**本社** : 18 Rue du Général Mouton-Duvernet 69003 LYON - support@primx.eu

**営業本部** : OPEN21 21 Rue Camille Desmoulins 92130 ISSY-LES-MOULINEAUX - 電話 : +33 (0)1 40 95 24 80 - business@primx.eu

[www.primx.eu](http://www.primx.eu)

## 目次

複製と著作権.....	2
1. ZEDPRO の有効化.....	4
2. コンテナの作成.....	4
3. パーソナルキー.....	4
4. コンテナの使用.....	5
5. アクセス管理.....	6

## スタートガイド

**ZEDPRO** および **ZEDFREE** は、操作がシンプルなソフトウェアで、容易に**暗号化**（および圧縮）された**ファイルコンテナ**を作成することができます。作成されたファイルは、アーカイブとして保存したり、電子メールの添付ファイルとして、または **USB** メモリなどのさまざまな媒体を通じて転送することができます。

暗号化されたコンテナの使用方法は、非常に直感的で、**Windows** の圧縮フォルダや、**Linux** の「tar」アーカイブの使い方とよく似ています。本書は、この製品のクイックスタートガイドです。

### 1. ZEDPRO の有効化



**ZEDPRO** の初回起動時には有効化が**必要**です。まず、以下の情報を入力する必要があります。

- + 購入時に提供されたライセンスキー
- + お客様の有効な電子メールアドレス
- + お名前（デフォルトの名前が提案されますが、ご自分でカスタマイズすることをお勧めします）。

これらの2つの情報（メールアドレスとお名前）により、ご使用の **PC** が識別され、[www.zedencrypt.com](http://www.zedencrypt.com) のアカウントページ内でライセンスを管理できるようになります。

その後、インターネットに接続している場合はオンラインで直接製品を有効化するか、以下の要領でフォームから製品を有効化します。上記のデータの入力後、フォームのページが開きますので、インターネットに接続された別のコンピューターに有効化サーバーから送信される情報を入力します。この操作は、同じセッション内において「連続して」実行する必要があります。

#### 重要な注意点

有効化された製品は、バックグラウンドで定期的にチェックされます。従って、お客様のアカウントからライセンスを無効化し、別のデバイスに割り当てることができます（たとえば、**PC** を買い換えた場合など）。**ZEDPRO** は、有効化（インターネット接続によって自動的に有効化するか、またはフォームによって手動で有効化する）前に、連続**90**日間オフラインで作業することができます。この日数の経過後、再び有効化を行うまでの間、製品は劣化モードで動作します（**ZEDFREE** と同じ機能ですが、コンテナを作成することはできません）。

### 2. コンテナの作成

アプリケーションを起動し、「コンテナ」メニューから「**新しいコンテナ**」をクリックします。ウィンドーが開きますので、コンテナ名を入力し、保存場所を指定します。

暗号化されたコンテナの拡張子は「**.zed**」です。

### 3. パーソナルキー

初めてコンテナを作成する際には、**パーソナルアクセスキー**を選択するウィザードが表示されます。このキーが、その後に作成される暗号化コンテナに自動的に適用され、開く時に必要になります。

このウィザードは**初回時**にのみ表示されます。キーがひとたび定義された後は表示されません。

パーソナルキーは以下の場合が考えられます。

- + ご自身で選んだ**パスワード**（ZEDPRO の場合、管理者がパスワードを強制することができます。詳細については ZEDPRO セットアップガイドを参照してください）
- + **RSA 暗号化キー**、これは**証明書**に関連付けられており、以下のさまざまな「キーホルダー」に収納できます。
  - パスワードで保護されたキーファイル（一般に「.pfx」または「p12」）。
  - ZEDPRO の場合、**IC カード**または**USB トークン**（PKCS#11基準）を選ぶことができます。市販製品のほぼすべてがサポートされていますが、IC カードまたは USB トークンが事前にセットアップされていない場合は、ZEDPRO セットアップガイドを参照して、デバイスの指定の手順に従ってください。

## 重要な注意点

パスワードによるアクセスを選択する場合は、**ユーザーID** を選ぶ必要があります。この識別名は、後でコンテナ使用時におけるさまざまなアクセスで「ユーザーを認識する」ために役立ちます。パーソナルパスワードを初めて入力するとき、パスワードに十分な「強度」がない限り、赤いドットで表示されます。確認のために再度入力する時には、エラーでない限りドットはオレンジ色で示され、最初の入力と同一だと緑色に、間違っていると赤色になります。

- + 証明書によるアクセスを選択する場合は、ファイルや IC カードなどによりアクセスコードを提供し、検証する必要があります。アプリケーション ZEDPRO および ZEDFREE は、RSA キーも証明書も作成しませんのでご注意ください。このタイプのキーを使用する場合は、企業、公共、または商用の PKI（公開鍵基盤）のサービスを利用する必要があります。
- + 「オプション」メニューから、「**パーソナルアクセス**」を選択すると、パーソナルアクセスを管理できたり、特にアクセスキーを変更できます。**パーソナルキーを変更した場合、この更新はそれ以前に作成されたコンテナには適用されず、新しいコンテナにのみ適用される点に注意してください。**

## 4. コンテナの使用

コンテナを開くには、コンテナをダブルクリックしてください。

- + あなたが作成したコンテナの場合は、パーソナルアクセスキーの入力を求められます（現在のセッションでまだ入力していない場合）。
- + 別の人から送付されたコンテナの場合、**アクセスキー**が要求されます。この場合、あなたにこのコンテナを送信した人からの**パスワード**、または、キーファイル（.pfx）や **IC カード**に保持されている **RSA キー**（通常はあなたのパーソナルキー）が必要になります。

認証されると、コンテナがその中に含まれているファイルとともに表示されます。

コンテナの操作に使用されるツールバーの主要なアクションは次のとおりです。

- + **ファイルの追加**：ソースファイルのコピー、コンテンツの圧縮、およびコンテナ内での暗号化を行います。
- + **フォルダの追加**：ソースフォルダとそのサブフォルダのコピー、それらのコンテンツの圧縮、コンテナ内での暗号化を行います。
- + **新しいフォルダ**：コンテナ内に新規フォルダまたはサブフォルダを作成します。
- + **抽出**：選択したすべてのファイルの復号化、解凍、および指定された場所への保管を行います。
- + **プロパティ**：コンテナの詳細情報（サイズ、作成日、暗号化メカニズム、製品の作成者など）を表示します。
- + **アクセス管理**：コンテナへのアクセスの追加または削除を行います（第5章を参照）。

**ZEDPRO** では、**コンテナの背景画像**を自分で定義することができ、コンテナに統合された画像は、受信者にも表示されます。画像の選択は、ツールバーメニューの「**コンテナの背景画像**」から行います。

**注意**： **ZEDFREE** では、コンテナあたり、200 ファイルまたは 200MB に制限されています。**ZEDPRO** にはサイズやファイル数の制限はありません。ただし、機能上の信頼性の理由から、コンテナあたり **2GB または 3GB を超えないこと**をお勧めします。

## 5. アクセス管理

前述のように、作成されたコンテナには常に**パーソナルキー**が含まれています（コンテナが他の人によって作成、送信された場合は、その限りではありません）。

コンテナには、RSA タイプの他のアクセスを含めることもできます。このようなアクセスの場合、管理者が製品の設定を行い、**復元**手段を定義することができます。このタイプのアクセスを設定するには、**ZEDPRO** バージョンが必要です。**ZEDPRO セットアップガイド**参照してください。

コンテナを1人または複数の人と交換する「外交コンテナ」として機能させる場合は、事前に関係者の間で「機密事項」について合意する必要があります。通信相手とパスワードについて合意することができますが、通信相手が RSA キーと対応する証明書を持っている場合は、この証明書を直接使用できます。一部の企業では、名前または電子メールアドレスから人々の証明書を取得できるディレクトリ（「LDAP ディレクトリ」と呼ばれる）を利用できるようにしているものもあります。ディレクトリのアドレスと、検索する名前の一部または全部を指定することによって検索が実行されます（**ZEDPRO** バージョンでのみ使用可能な機能）。

アクセスを管理するには、ツールバーの「**アクセス管理**」をクリックします。

表示される画面から、既存のアクセスの他、**追加、削除、パスワードの変更**を選択できます。**RSA キー / 証明書**によるアクセスに関しては、**証明書**を参照してください。

アクセスの種類によってピクトグラムは異なります。ヘルプバルーンが示す情報を参照してください。